

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 5 月 23 日(2023.5.23)

【公開番号】特開 2021-137155(P2021-137155A)
【公開日】令和 3 年 9 月 16 日(2021.9.16)
【年通号数】公開・登録公報 2021-044
【出願番号】特願 2020-35688(P2020-35688)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 4 A

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 5 月 15 日(2023.5.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技が可能な遊技機であって、

遊技媒体を貯留可能な貯留部と、

遊技媒体を払出すことが可能な払出部と、

上面が開口し、前記貯留部の遊技媒体を前記払出部に誘導する誘導通路を形成する誘導通路形成部と、

30

前記誘導通路形成部よりも上方位位置に取付けられる特定基板と、

前記特定基板が収容される収容部と、

擬似可動体表示を第 1 表示位置から該第 1 表示位置とは異なる第 2 表示位置に移動表示可能な表示手段と、

第 1 位置から該第 1 位置とは異なる第 2 位置に移動可能な可動体と、

演出を実行可能な演出実行手段と、

を備え、

前記収容部は、該収容部に落下したねじ部材の前記誘導通路形成部への移動を制限可能とする移動制限部を含み、

前記演出実行手段は、

40

前記擬似可動体表示を前記第 1 表示位置から前記第 2 表示位置に移動表示させる擬似可動体表示演出と、

前記可動体を前記第 1 位置から前記第 2 位置に移動させる可動体演出と、

を実行可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

50

【 0 0 0 6 】

手段 A の遊技機は、
 遊技が可能な遊技機であって、
 遊技媒体を貯留可能な貯留部と、
 遊技媒体を払出すことが可能な払出部と、
 上面が開口し、前記貯留部の遊技媒体を前記払出部に誘導する誘導通路を形成する誘導通路形成部と、
 前記誘導通路形成部よりも上方位置に取付けられる特定基板と、
 前記特定基板が収容される収容部と、
 擬似可動体表示を第 1 表示位置から該第 1 表示位置とは異なる第 2 表示位置に移動表示可能な表示手段と、
 第 1 位置から該第 1 位置とは異なる第 2 位置に移動可能な可動体と、
 演出を実行可能な演出実行手段と、
 を備え、
 前記収容部は、該収容部に落下したねじ部材の前記誘導通路形成部への移動を制限可能とする移動制限部を含み、
 前記演出実行手段は、
 前記擬似可動体表示を前記第 1 表示位置から前記第 2 表示位置に移動表示させる擬似可動体表示演出と、
 前記可動体を前記第 1 位置から前記第 2 位置に移動させる可動体演出と、
 を実行可能である、
 ことを特徴としている。

手段 1 の遊技機は、
 遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1）であって、
 遊技媒体（例えば、遊技球 P）を貯留可能な貯留部（例えば、球タンク形成部 2 0 1）と、
 遊技媒体を払出すことが可能な払出部（例えば、払出装置 2 0 0）と、
 上面が開口し、前記貯留部の遊技媒体を前記払出部に誘導する誘導通路（例えば、第 1 誘導通路や第 2 誘導通路）を形成する誘導通路形成部（例えば、第 1 誘導通路形成部 2 0 2 や第 2 誘導通路形成部 2 0 4）と、
 前記誘導通路形成部の上面の一部を覆うように設けられたカバー部（例えば、第 1 カバー体 3 1 0、第 2 カバー体 3 2 0、第 3 カバー体 3 3 0）と、
 擬似可動体表示を第 1 表示位置から該第 1 表示位置とは異なる第 2 表示位置に移動表示可能な表示手段と、
 第 1 位置から該第 1 位置とは異なる第 2 位置に移動可能な可動体と、
 演出を実行可能な演出実行手段と、
 を備え、
 前記カバー部に、該カバー部上に落下したねじ部材（例えば、ねじ部材 N 1 ~ N 6、N 1 1 ~ N 1 6）の前記誘導通路形成部への落下を制限するための所定制限部（例えば、長孔 3 1 6 A ~ 3 1 6 C、凹溝 3 2 6 A ~ 3 2 6 C、凹部 3 3 6）が設けられ（図 2 2、図 2 4 参照）、
 前記誘導通路形成部に、該誘導通路形成部に落下したねじ部材の前記払出部への移動を制限するための特定制限部（例えば、孔部 2 7 1 A ~ 2 7 1 H）が複数設けられており（図 1 1、図 1 2、図 2 7 参照）、
 前記所定制限部（例えば、長孔 3 1 6 A ~ 3 1 6 C、凹溝 3 2 6 A ~ 3 2 6 C、凹部 3 3 6）は、前記カバー部上に落下した遊技媒体を滞留させることなく該カバー部上から落下可能に設けられており、
 前記演出実行手段は、
 前記擬似可動体表示を前記第 1 表示位置から前記第 2 表示位置に移動表示させる擬似

可動体表示演出と、

前記可動体を前記第 1 位置から前記第 2 位置に移動させる可動体演出と、
を実行可能であり、

前記演出実行手段により所定期間において前記可動体演出と前記擬似可動体表示演出と
が実行されるときの方が、前記演出実行手段により前記所定期間において前記可動体演出
が実行されずに前記擬似可動体表示演出が実行されるときよりも前記有利状態に制御され
る割合が高い、

ことを特徴としている。

この特徴によれば、カバー部上に落下したねじ部材が誘導通路形成部内に落下すること
を防止することができる。また、誘導通路形成部内に混入したねじ部材が払出部に混入す
ることを防止することができる。また、所定制限部に遊技媒体が滞留することがなく、常
にねじ部材を滞留させることが可能な状態を維持できるため、カバー部上に落下したねじ
部材が誘導通路形成部内に落下することを防止することができる。また、可動体演出と擬
似可動体表示演出とが実行されることに遊技者を注目させることができる。

10

20

30

40

50